

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)4月22日
所属名:高島農産普及課
番号:H25001(個有)
発信者名:三溝、大崎



果樹園に人を呼び込む取組を学ぶ視察研修を開催！

4月11日に、果樹園の人手不足を補いながらファンをつくる取組を学ぶことを目的に、「NPO法人愛のまちエコ倶楽部」を視察先として研修を開催したところ、関係機関含め11名の出席がありました。

高島市では約83haの果樹が栽培されていますが、近年は生産者の高齢化が進み、人手の確保が喫緊の課題となっています。一方で、高島市は豊かな自然と景観に囲まれ、魅力ある観光資源が広く存在しており、観光客も順調に増加しています。

そこで、令和7年度から始まった北部振興事業の『オリーブで高島地域活性化プロジェクト』の一環でオリーブ産地化推進協議会構成員を対象に、標記の視察研修を当課が主催しました。

視察先である東近江市の「NPO 法人愛のまちエコ倶楽部」は、年間を通して農業体験できるカリキュラムを構築されており、研修の中で、「参加費を払ってでも、大変な作業を含めた農作業を年間通して学びたい」という参加者ニーズがあることをお聞きしました。また、就農に結びついた事例や、参加者による作業応援のおかげで受け入れた農業者の栽培の継続に繋がっていることも学びました。

ただ、継続して果樹園に来ていただくためには、受入体制を整え、参加者にとって魅力的な取組となることが重要です。研修会後には、受入窓口となる団体や農業者等で、どのように進め、どのようなカリキュラムを構築するべきか具体的な相談がなされました。

当課は、今後も引き続き果樹園に人を呼び込む取組を支援します。



視察研修の様子